

# ロールプレイを行うときの留意点

## ＜グループ・ファシリテータの役割＞

- ① グループ内で自己紹介(和やかな雰囲気づくり)
- ② ロールプレイで医療者(学生)側になる参加者を決める(順番で、全員が体験できるように配慮する)
- ③ 模擬患者役の在住外国人と②の参加者とでロールプレイを行う(希望があれば2名一組で外国人の対応としてもよい)
- ④ ロールプレイを行った参加者②に感想を求める(必ず最初)
- ⑤ 模擬患者役に感想を求める
- ⑥ グループ内で討議する(ロールプレイを見ていて気付いたこと、よかったこと、こうするともっとよいと思えた点、感想);参加者の誰もが一度は発言するように促す
- ⑦ 全体の質疑応答の時に、グループ内で出た質問や感想を参加者の誰かに発表してもらう

# ロールプレイを行うときの留意点

## <模擬患者役をお願いすること>

- ① 事前にシナリオを確認する(シナリオで不明な点があれば、開始前に質問しておく)
- ② 医療者側参加者とロールプレイを行う(相手の発言の中で分からない言葉があったら尋ねる、質問できない雰囲気と感じたら尋ねなくてよい)、「演技」ではなく自分の心の動きをそのまま表す
- ③ 自分の中に生じた気持ちを、その時の会話や状況と共に覚えておく(安心、とまどい、不安、嬉しい気持ちなど)、シナリオにないことを質問されたら答えやすいように回答する
- ④ ロールプレイが終わったら、医療者側の感想の後に自分の感想を述べる。よかったところ、こうするともっとよいと思えた点(具体的に)を述べ、最後によかったところを必ず述べる
- ⑤ グループ内の討議の際に、意見を求められたら、自分の個人的な意見で、皆そう思うとは限らないことを伝えてから述べる